

平成 21 年度関東高等学校女子バスケットボール選手権大会
兼 第63回関東高等学校女子バスケットボール選手権大会

All Kantoh '09 Girls in Chiba

(Aブロック) 1 回戦

試合日: 2009/06/13
開始時刻: 14:15~
会場: 船橋市総合体育館
コート: Bコート
試合順: 第4試合(Aブロック) 1 回戦

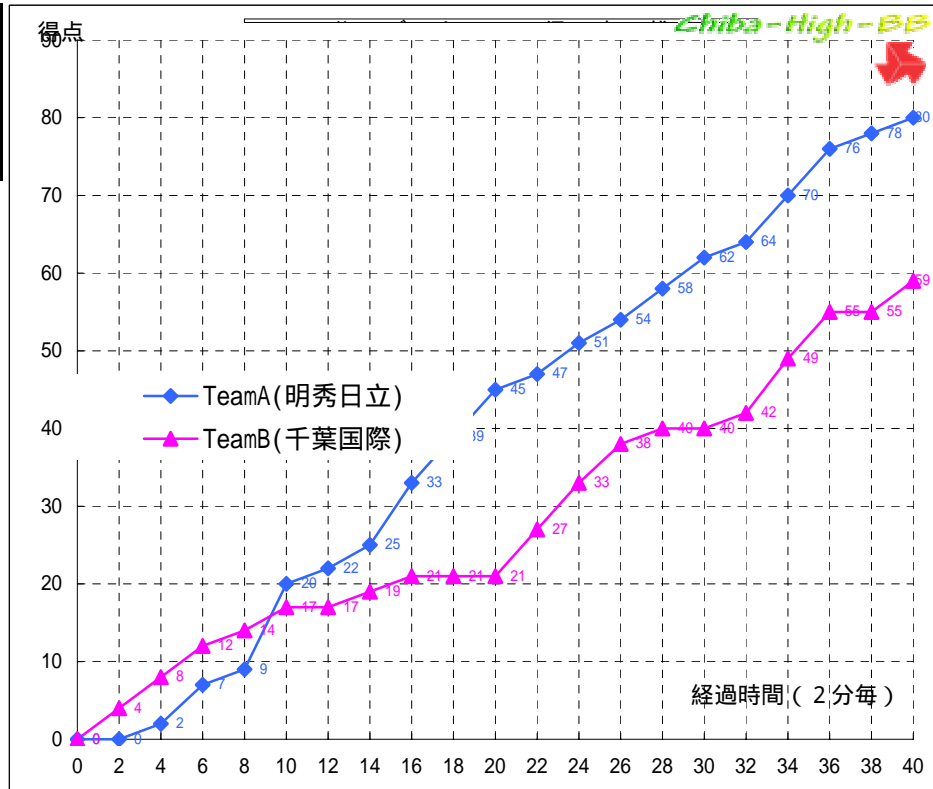
Team A		Team B
明秀日立	80	千葉国際
(茨城県)		(千葉県)

TeamA(明秀日立)

PT	選手名	得点	3P イント			反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー				
			成	成	成		off	def	計							
4	加倉井 麻未	4	0	2	0	3	2	3	5	0	1	2				
5	山崎 ありさ	23	0	10	3	3	2	3	6	2	0	3				
6	梶山 舞	16	0	7	2	3	1	1	2	3	0	6				
7	坂井 美月	12	2	3	0	0	0	1	1	0	0	4				
8	笹平 美樹	6	0	3	0	0	1	2	3	0	0	2				
9	村田 舞佳	2	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0				
10	打越 美穂	13	0	6	1	1	1	3	4	0	0	3				
11	平野 早希	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0				
12	門 瑞希	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0				
13	鶴見 美紀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1				
14	益子 諭美	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0				
15	佐々木 彩	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1				
16	大野 優希菜	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0				
17	大島 瑞希	2	0	1	0	0	1	1	2	0	0	0				
18	高崎 未希	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2				
Team / Coach:						0	2	7	9			4				
合計			80	2	0	34	0	6	0	14	13	23	36	5	2	24

TeamB(千葉国際)

PT	選手名	得点	3P イント			反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー				
			成	成	成		off	def	計							
4	森 千夏	8	2	1	0	1	0	4	4	4	0	5				
5	中村 玲那	4	0	2	0	1	1	1	2	5	0	1				
6	小菅 由香	23	0	11	1	2	3	9	12	1	3	4				
7	中村 夢菜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
8	松岡 実希	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1				
9	田中 佑果	0	0	0	0	3	3	0	3	0	0	2				
10	茂木 依里奈	14	0	7	0	3	2	6	8	1	0	3				
11	渡辺 杏奈	6	0	3	0	2	0	2	2	4	1	2				
12	高橋 沙綾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2				
13	石井 美沙稀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1				
14	芝 暉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
15	宮崎 杏奈	4	0	1	2	0	2	0	2	0	0	2				
16	小田喜 多津子	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	3				
17	江澤 伶奈	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0				
18	杉田 葵	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0				
Team / Coach:						0	1	1	2			2				
合計			59	2	0	25	0	3	0	13	13	25	38	16	6	26



タイムアウト

	前半(1-2P)リセット	後半(3-4P)リセット	延1	延2	延3	延4
TeamA		25:09				
TeamB	11:54	16:06	33:15	34:57		

【戦評】

第1P、両チームともマンツーマンでスタート。千葉国際は#6小菅を起点とし、ポストプレーや、#5中村、#11渡辺のジャンプシュートでリズムを作る。対する明秀日立も#10打越の1on1や#5山崎の速攻やバスケットカウントで反撃し20対17と一進一退の展開となったところで第1P終了。第2P5分明秀日立は激しいディフェンスから走り出し、#6梶山、#8笹平の速攻と連続得点で一気にペースを上げる。千葉国際は、#5中村を中心にオフェンスを組み立てるが、リズムが作れず45対21で折り返す。第3P開始早々#6小菅、#10茂木のシュートで追撃し、ディフェンスをマッチアップゾーンに変えるが、明秀日立も#5山崎のポストプレイ、#7坂井のミドルシュートなどで落ち着いて対応し、点差は縮まらない。第4Pに入り、千葉国際#4森の3P、#11渡辺のシュートで粘りを見せるが、最後まで安定した力を発揮した明秀日立が80対59で勝利を収めた。

主審	安富 朗	副審	眞久 聡子	記入者	高松 淳史
----	------	----	-------	-----	-------